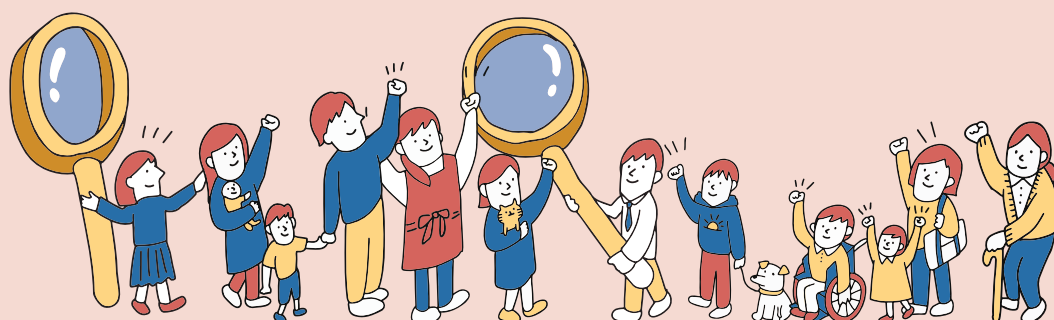


「持続可能な 社会の創り手育成事業」

結果報告BOOK 2023



「持続可能な社会の創り手育成事業」とは

社会課題の解決に取り組むNPOに対して、SDGsの普及促進を図ることにより、NPOの活動の可能性を広げます。

また、NPOとSDGsに取り組む企業や大学等との協働を促進することで、多様な主体が社会全体で地域活動を支えていく、持続可能な社会の創り手を育成していきます。

当事業は上記を目的として実施する事業です。

全体スケジュール

7/16(日)、29(土)	SDGsセミナー (刈谷と名古屋で開催)
8月下旬	NPOアワード参加8団体選考 ※SDGsセミナーに参加された NPOの中から選考
9月	NPOアワードに向けたプレゼン研修 合同研修 (Zoom) 個別研修 (対面) 8団体
10/7(土)	NPOアワード (県民の皆様に対しプレゼン▶寄附金贈呈) (Aichi Sky Expo (常滑市) で開催) 8団体
12月~1月	NPOアワード参加の 県民の皆様が NPO活動を実地体験 2団体

目 次

Contents

01	SDGsセミナー	
	1. 開催概要	03
	2. 開催実績	04
	3. 参加したNPOの声	06
02	NPOアワードに向けたプレゼン研修	
	1. 研修内容	07
	2. 参加者の声	08
03	NPOアワード	
	1. 開催概要	09
	2. 開催実績	11
	3. 発表したNPOの声	16
	4. 参加した県民の声	16
04	実地体験	
	1. 開催実績 1	17
	2. 開催実績 2	18
05	協働支援	
	1. 実施概要	19
	2. 協働事例 1 NPOと企業	19
	3. 協働事例 2 NPOと大学	20
06	参加NPO紹介・寄附金活用状況	21

1. 開催概要

SDGsに関する概要説明等を通じて、NPOの職員がSDGsに関する理解を深めるとともに、自団体の取組とSDGsの関係を分析し、現状を把握することを学ぶことで、活動の可能性を広げるためのセミナーを開催しました。

1 スケジュール

開催会場	日時	参加者
刈谷会場 刈谷市中央生涯学習センター	7月16日(日) 13:30～16:30	22名 (会場:16名、 オンライン配信:6名)
名古屋会場 ウイंकあいち	7月29日(土) 13:30～16:30	23名 (会場:18名、 オンライン配信:5名)

2 内容

▶ SDGsセミナー研修

➡ P4 ①

講師：戸成司朗氏（一般社団法人中部SDGs推進センター 代表理事）

内容：「SDGsに取り組む意義」
「NPOがSDGs宣言をするためには」

▶ SDGsの取り組み事例発表

➡ P4 ②

企業：住友理工株式会社
学校：名古屋国際中学校・高等学校

▶ 参加NPOと事例発表者との意見交換

➡ P5 ③

ファシリテーター：戸成司朗氏

3 講師紹介



一般社団法人 中部SDGs推進センター 代表理事 戸成司朗 氏

35年間セゾングループ(株)西友に勤務、2007年執行役副社長を最後に退任、この間に日本チェーンストア協会初代社会貢献委員長を務める。

自宅の在る日進市に戻り、第二の人生を社会に貢献したく、同年住友理工(株)に入社、CSR部長、アドバイザーとして、価値創造型CSRを推進してきた。又、2013年中部圏の企業人の社会参加を目指し、NPO法人中部プロボノセンターを設立し共同代表理事を務める。又、中京大学大学院にて客員教授としてソーシャルビジネスを教える。

2019年一般社団法人中部SDGs推進センターを設立、代表理事に就任しSDGsの普及啓発、実践指導を行っている。

2. 開催実績

1 SDGsセミナー研修

刈谷会場



名古屋会場



戸成講師より、「SDGsを羅針盤に社会の持続可能戦略を考える」と題し、未来から選ばれるNPOになるために、変革期の今、どんな価値をどのように提供していくのかを考えよう、と講義していただきました。

参加したNPOの方々からは、SDGsへの取り組みについて、真摯に向き合っている姿勢がうかがえました。また、企業と協働していく方法についての質問や、会員を増やしたり給与を上げたりしたいが難しい、といった切実な悩みも聞かれました。

2 SDGsの取り組み事例発表

住友理工株式会社様からの事例発表

刈谷会場



名古屋国際中学校・高等学校の生徒さんからの事例発表

刈谷会場



名古屋会場



名古屋会場



まず企業によるSDGsの取り組み事例として、今年度事業の協賛団体である住友理工株式会社様に発表していただきました。社会の課題解決には多様なセクターによる協働がカギとなること、また目標設定の方法、持続可能にするための仕組みづくりなどについて、フレイル予防事業の事例から、わかりやすくご説明いただきました。

続いて名古屋国際中学校・高等学校の生徒さんから、SDGsに取り組む部活動事業 (Sus-Teen!) について発表がありました。Sus-Teen!では、複数の企業と連携しながら、若者の斬新なアイデアで、廃棄されていた物から新たな製品を数多く生み出しています。また、自分たちの活動を知ってもらふ発信を積極的に行い、地域とのつながりを大切にして活動していました。

3 参加NPOと事例発表者との意見交換

刈谷会場



▶ 企業と参加者



企業は、NPOとどのような出会いを期待しているのか？

共に地域の課題を解決していきたいという思いが一致することが大切である。NPO側からも企業へ積極的に働きかけてほしい。



▶ 学校と参加者



色々な企業と連携しているが、連携していて困ったことはないか？

廃棄物をなくしたいという自分たちの思いを伝え、企業側も協力的に対応してくれるので、今のところ困ったことはない。



名古屋会場



▶ 企業と参加者



協働先とは、どのような経緯でマッチングに至ったのか？

例えば、コロナ禍で必要とされた聴覚障害者の使用する透明マスクを開発した取組では、たまたま関連する中間支援組織が聞き込んだ地域の課題の中で、自社グループに関連するものがあり、何かできないかと思い、つながっていった。



▶ 学校と参加者



今行っている活動を将来どのように活かしていきたいか？

将来の夢はまだ決まっていないが、生活する中で常にSDGsに関する視点は持ち続け、少しでも役立てていきたい。



3. 参加したNPOの声



団体としての存在価値を考え直す良い機会となった。



SDGsの重要性が語られるようになってかなり時間が経つが、ようやく地域課題を考える一般の私たちの意識も変わり、協働の事例が増えてきたと感じた。

SDGsはだれも取り残さない=WellBeingの実現が必要であり、2030年までの間に「よりコミュニケーションしやすい」手法を各自が身に着け、当事者視点で選択や行動ができる世の中に変えていく必要があると学んだ。

NPOが企業と協働していくことや、NPOが社会にどう貢献していくのかなど、自団体の今後の活動にとっても参考となった。

自団体では、会員の高齢化に伴い、若い世代の会員を募集しているが、思うように集まっていない。その中で、人を集めるには大義が必要である、人に感動を持って伝える、そして共感を得るなど、良い示唆をいただいて感動した。



SDGsの取り組み事例で、NPOを支援する企業から「協働する場合、お金を寄附するだけでなく、社員も一緒になって課題解決したい」という内容のお話があり、自分たちが今後企業と関わる時の姿勢の参考になった。

中学生・高校生の発表では、昨年の「NPOアワード」での発表などを通じて、地域や企業と関わる事が大切という学びを得て成長しているところが素晴らしいと思った。



若い人、高齢者、NPO、みんな同じ思いを持つ人がいるので、一緒に活動する仕組みがあると良いと思った。



自分たちの魅力・目的・改善点などを見直すことの大切さを学んだ。

企業の発表では、企業側がNPOと協働したいという視点を持っていると気付いた。
中学生・高校生の二人は、等身大の感性が生かされていると感じた。

自分たちの小さな活動が持続可能な社会をつくるSDGsにつながっているという認識はなかった。しかし、自分たちの志やパーパスを考えたときに、SDGsに関わっていると気付くことができた。



1. 研修内容

選定されたNPO8団体に対し、NPOアワードにおいてより効果的なプレゼンテーションを実施するため、また、伝える力を身につけることにより資金調達力の向上につなげるため、効果的な資料の作成方法やプレゼンスキルを学ぶ「NPOプレゼン研修」を実施しました。

合同研修

日 時: 9月4日(月) 13:30 ~ 15:30

方 法: オンライン(Zoom)にて、NPOアワードに参加する8団体の他、選定外となった団体も参加して実施

講 師: 戸成司朗氏 (NPO法人中部プロボノセンター 代表理事)

内 容: 「SDGsの推進に貢献し支援者の協力を得るための共感を得るプレゼンテーション」と題し、押し付けにせず、社会課題を我がことと感じてもらえる、伝えるから伝わるを意識したプレゼンテーションのノウハウを講義しました。



受講後、ノウハウに沿って各団体にてプレゼン資料を作成

個別研修

日 時: 9月22日(金) 13:00 ~ 16:15
9月23日(土) 13:00 ~ 16:15

場 所: 9月22日(金)刈谷市中央生涯学習センター 研修室
9月23日(土) あいちNPO交流プラザ 会議コーナー

講 師: 戸成司朗氏 (NPO法人中部プロボノセンター 代表理事)

内 容: 参加した8団体のそれぞれが作成したプレゼン資料に対し、個別指導(45分/1団体)を行いました。まずは、本番と同様の形で実際にプレゼンし、講師より具体的にこうした方が伝わるとアドバイスしました。
皆さん、より多くの共感を得られる資料とするべく、熱心に指導を受けていました。

プレゼン資料をブラッシュアップ

個別
最終確認

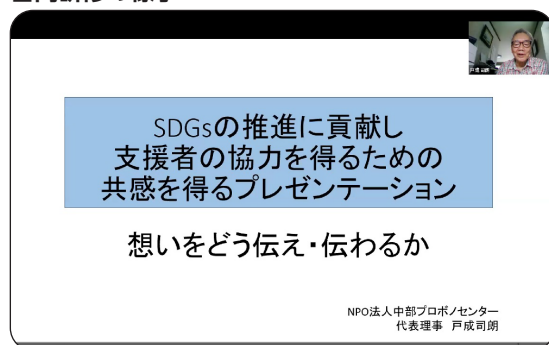
日 時: 9月30日(土) 15:00 ~ 16:30
10月1日(日) 13:30 ~ 16:30

講 師: 戸成司朗氏 (NPO法人中部プロボノセンター 代表理事)

内 容: オンライン (Zoom) にて、講師より最終チェック (30分/1団体) を行いました。皆さん、先の個別研修での指摘事項はしっかりと直しており、微修正のみで無事確認を終えました。

NPOアワードに向けプレゼン資料を最終仕上げ

合同研修の様子



個別研修の様子



2. 参加者の声



伝えたい情報の整理の仕方や資料の作り方が非常に参考になり、今後にも活かせることがたくさんあったので、参加できて良かった。

パワーポイントで資料を作ったことも発表したこともなく、かなり不安だったが、仲間と何度も練り直して研修に臨んだ。当日は先生からの的確な助言や、思い切った「ここはなくしましょう」「ここは変えましょう」という指摘だけでなく、活動に対するお褒めの言葉もいただき、「こういう方向性でやるんだ」という道筋がハッキリした。



プレゼン作成の基礎を学び、実際にプレゼンのリハーサルを見てもらったことがとても勉強になった。また、自団体を外から見る視点が必要であることを学び、SDGsについて深く考えるきっかけにもなった。この経験を活かして、スキルアップにつなげていきたいと思っている。

これまで「活動にかける想い」を中心に伝えて、応援してくれる方々に協力してもらっていたが、「想いに頼り過ぎない伝え方」を学びたいと思って参加した。知識のインプットと個別のフィードバックによって、たくさんのことを学ばせてもらった。



1. 開催概要

県民の皆様にNPOのことをもっと知っていただくため、「みんなで選ぶ『NPOアワード』」を開催しました。

このNPOアワードでは、SDGsや地域課題解決に取り組むNPOが活動の発表を行い、それにより参加者が共感したと思ったNPOに投票します。そして、参加者からの投票結果と審査員による審査結果に基づき、協賛団体から参加したNPOに寄附金が贈呈されました。

1 スケジュール

開催会場	日時	参加者
Aichi Sky Expo 午前の部 L3, L4 会議室 午後の部 展示ホールA 「SDGs AICHI EXPO 2023」 メインステージ	10月7日(土) 午前の部 10:00 ~ 12:00 午後の部 13:10 ~ 13:55	午前の部 58名 (会場:55名、 オンライン配信:3名) 午後の部 約60名

2 参加NPO

参加NPO (所在地)	主な活動内容
NPO法人アスクネット (名古屋市熱田区)	出会いと挑戦の教育、学び・育ち合う共同体づくりで社会を豊かにする
NPO法人田舎暮らし支援センター (知多郡南知多町)	「田舎」と「都会」との交流や、里山の再生と持続可能な活用の推進
NPO法人刈谷おもちゃ病院 (刈谷市)	ものを大切にする心を育むため、おもちゃの修理、モノづくり教室の開催
社会福祉法人せんねん村多文化ルームKIBOU (西尾市)	日本語クラス開講など、外国にルーツを持つ子どもたちへの就学支援
NPO法人とこっ子 (常滑市)	障がい児と家族の自立、社会参加を支援するネットワークづくり
NPO法人ファミリーステーションRin (日進市)	親子の不安や困難を解消し、生き生きと子育てができるまちづくり
NPO法人みんなのひみつきち (春日井市)	子どもたちに学ぶことの楽しさを知ってもらうため、無料塾の開催
NPO法人ゆめはーと (名古屋市守山区)	介護や福祉の支援を受けながら、誰かのために活躍できる街づくり

3 内容

午前の部

- ▶ NPOによるプレゼンテーション ➡ P11 ①
- ▶ NPOと参加者との意見交換 ➡ P14 ②
ファシリテーター： 原田さとみ氏
- ▶ 最も共感したNPOに投票 ➡ P14 ③

午後の部

- ▶ SDGsの取り組み事例発表 ➡ P15 ④
企業： 住友理工株式会社
学校： 名古屋国際中学校・高等学校
NPOと大学の協働： NPO法人多文化共生サポートAdagio、
愛知淑徳大学コミュニティ・コラボレーションセンター
- ▶ 結果発表及び協賛団体からの寄附金の贈呈 ➡ P15 ⑤
- ▶ 「住友理工賞グランプリ」受賞NPOによるプレゼンテーション ➡ P15 ⑥

4 協賛団体

協賛団体は、SDGsや社会貢献活動に熱心に取り組んでおられ、本事業の趣旨に賛同された以下の団体です。当日、協賛団体から50万円の寄附金が贈呈されました。

- ・住友理工株式会社(名古屋市中村区)

5 「SDGs AICHI EXPO 2023」でのブース出展(10月5日～7日)

今年は「みんなで選ぶ『NPOアワード』」を「SDGs AICHI EXPO 2023」のイベントの一つとして開催し、ブースを出展しました。

持続可能な社会の創り手育成事業や今年のNPOアワードに参加した団体のチラシなどを配布して、事業のPRを行いました。



2. 開催実績

午前の部

1 NPOによるプレゼンテーション

NPO法人中部プロボノセンター代表理事の戸成司朗氏による概要説明が行われた後に、様々な分野で活動するNPO8団体から、それぞれ活動内容等のプレゼンテーションが実施されました。



司会 原田 さとみ 氏

エシカル・ベネロープ(株)代表
(一社)日本フェアトレード・フォーラム代表理事



NPO法人アスフネット

テーマ 「誰もがつながりを感じながら、

明日を楽しみにして生きていける社会を、ともに作る」

子どもたちの課題として、自然や地域社会との関わりの減少、集団活動の不足、物事を探求し吟味する機会の減少があります。この課題に対し私たちの団体は、「出会いと挑戦の教育」によってキャリア教育(生き方教育)を支援しています。例えば、自然の中でのフィールドワーク、インターンシップなどの体験活動や、社会人講座を年間約2万人の子どもたちに届けています。



県民の皆様へのメッセージ

子どもたちと出会っていただき、挑戦の機会を与えていただくことで、より多くの子どもたちに「出会いと挑戦の教育」を届けることができます。社会人講師やインターンシップの受入先として、あるいは子ども向け行事サポートのボランティアとして、皆様にもご協力いただけたら嬉しいです。

NPO法人田舎暮らし支援センター

テーマ 「多様な人をつなぐ里山を残そう」

南知多の地域課題には、耕作放棄地の増加、農地を管理する人の高齢化があり、かなり深刻な状況です。私たちの団体では、いくつかの農地を運営し、多くはオーナー制のエリアとして活用しています。田んぼ1枚、果樹1本ごとにオーナーを募ってそれぞれに管理してもらっています。また、その中の一部を体験用のエリアとし、季節ごとに体験行事を行い、親子や保育園児に様々な自然体験の場を提供しています。



県民の皆様へのメッセージ

多様な人々が集う里山を守る事を私たちは使命、ミッションとして活動しています。これからもずっと里山を残していくため、耕作放棄地をみんなの力で「生きた田んぼ」にしませんか？稲刈りや、しめ縄づくりなど色々な体験行事もおこなっているので、ぜひ参加しにきてください！

NPO法人刈谷おもちゃ病院

テーマ 「壊れたおもちゃに再び命を吹き込みます」

私たちは、壊れたおもちゃを無料で直しているボランティア団体です。シニア世代には、経験・知識・技術を生かしておもちゃを直すことで、やりがい・生きがいを感じながら地域社会へ貢献してもらい、子ども世代には、物を大切にする心を育み、物づくりの楽しさを体験し科学への興味が持てる場として利用してもらっています。2022年度は1,354件もの修理依頼があり、その97.5%を直しました。



県民の皆様へのメッセージ

親子でおもちゃを手作りをする工作教室も開催しています。また、今後は不要になったおもちゃの交換などリサイクルも検討しています。当団体は刈谷市交通児童遊園の管理棟内にありますので、遊園地に来がてらお立ち寄りください。親子で、あるいはお孫さんと一緒にぜひどうぞ！

社会福祉法人せんねん村多文化ルームKIBOU

テーマ 「不就学は、人生を描くスタートラインに立てない」

現代社会では、義務教育を終えていないと人生の選択肢は極端に減ってしまいます。私たちも地域で調査をする中で、年に数人の不就学の外国籍の子どもにたどりつきます。不就学だったメグミさんの言葉・・・「来日後、怖くて学校に行けずにいた中、KIBOUの先生からのすすめで中学に通い、勉強をがんばり高校生になりました。夢は大学へ行って学校の先生になることです。」・・・私たちの団体は今後も不就学ゼロを目指します。



県民の皆様へのメッセージ

お住まいの地域で学校に行っていない様子の子どものがいたら、地域の教育委員会にお知らせください。また、私たちは外国籍の子ども日本語クラスはもちろん、大人や日本語だけでなく母語のクラスも運営しています。受験・進学もサポートします。ご関心のある方は、寄附やボランティアにてご支援をお願いします。

NPO法人とこっ子

テーマ 「普通より”らしさ”を大切に～障がいは個性として輝く～」

私たちの団体は常滑市で障がい児・者の療育や支援をしています。また、障がいへの認識のズレや、障がいを受容し育てる難しさがあり、保護者への研修会や就労支援も積極的に行っています。その結果、我が子の特性をポジティブにとらえられたり、親御さんの就職率向上につながっています。人は普通ではないと悪ととらえがちですが、自己肯定感をUPさせより良い暮らしができるよう、これからも支援を続けていきます。



県民の皆様へのメッセージ

障がいを持つ子ども、その家族、支援者のことを、まずは知ってもらえると嬉しいです。そして、個性豊かな障がい者が働く就労支援事業所に買い物をしにきてください。また、ぜひボランティアとして参加してほしいです。皆様からのお問い合わせをお待ちしております。

NPO法人ファミリーステーションRin

テーマ 「親子の不安や困難を解消する切れ目のない支援を」

DV相談件数が増加し複雑な家族形態が増えている昨今、私たちの団体は、公的支援からもれがちな人に対し訪問を重ねて育児や家事のお手伝いをしたり、住むところがない親子の支援をしたりしています。困難な家庭を地域全体で支えられるよう、行政や地域の方々と日々連携をとり、だれ一人取り残さない社会をめざし、責任と覚悟を持って活動を継続していきます。



県民の皆様へのメッセージ

特に、一時的に入居できるステップハウスを長く維持管理していくためには、多くの費用がかかります。そのために寄附金が税金控除となる「認定NPO法人」となることもめざしています。皆様からの寄附を困難な家庭の支援につなげていきます。ぜひ寄附で私たちの活動を応援してください！

NPO法人みんなのひみつきち

テーマ 「目の前の人を笑顔に！」

私たちは中部大学春日丘高校インターアクトクラブという部活動から設立されたNPO法人です。部活動の時から「無料塾」という名前の通り無料の塾にて、地域の小中学生の勉強をみたり、料理教室や工作教室などを開催しています。子どもたちの年齢に近い高校生が講師となることで、まずは親近感を持ってもらい、すべての子どもたちに学ぶことの楽しさを感じてもらえるのが無料塾みんなのひみつきちです。



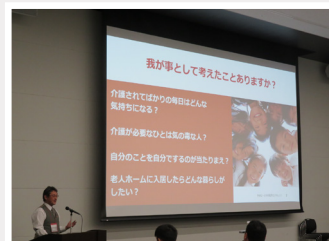
県民の皆様へのメッセージ

私たちの課題は経費が足りないことです。経費を得るために「つなぐっず」という名前で地域とつながり色々な製品を販売し、その売上の一部が寄附として団体に入る仕組みをつくりました。皆様、どうぞ「つなぐっず」を購入して、私たちの団体にご協力をお願いいたします。

NPO法人ゆめはーと

テーマ 「介護を受けながら誰かの笑顔のために活躍できる社会を創ろう！」

私たちの団体は、介護や福祉的支援を必要とする人々やその家族の日々の暮らしに、様々な産業をつなげて日々の生活しづらさを改善しています。生きづらい人が居るなら社会の方が変わる必要があります。それを助ける道具もあります。例えばCOGY(コギー)は足の筋力がなくても前に進める車椅子。本人や家族のあきらめ、大量生産できないこともあり普及がすすんでいませんが、ぜひこれを普及させたいのです。



県民の皆様へのメッセージ

私たちの団体は大人用COGYを2台購入し無料試乗貸出体験会を実施しています。自分で移動できることで気持ちが前向きになり、活動範囲が広がり家族も笑顔になっていきます。特に子どもにあきらめてほしくありません。子ども用のCOGYを購入するためにもぜひ寄附をお願いいたします。

2 NPOと参加者との意見交換

NPOの活動についてもっと知っていただくため、御来場の皆様とNPOとの交流を行いました。



田舎暮らし支援センターさんへ
土地の借り方は借り上げか？また、作物は何を作っているのか？

色々な借り方をしており管理のみしている土地もあるが、地主さんとのコミュニケーションは大切にしている。お米のほか、びわやオリーブを作ったり、水仙を植えたりしている。



刈谷おもちゃ病院さんへ
活動は何曜日か？また、安いおもちゃも多い中、捨てずに直す意味は何か？

利用しやすいよう土日に活動している。ゴミ捨て場におもちゃがあふれるのは悲しいので、何とかしようと活動している。また、SDGsの観点からも直して使い続けてほしいと思っている。



多文化ルームKIBOUさんへ
不登校児との関わりはあるのか？また、活動する中で苦労することは何か？

一旦就学してまた不登校となる子もいるが、寄り添って活動している。様々な国の子どもがいるため、文化や宗教の違いでは苦労することもあるが、スタッフも多国籍なので話し合いながら対応している。



みんなのひみつきちさんへ
法人化してよかったことは何か？苦労したのはどんな点か？

地域のお店へ「つなぐっず」を依頼する時など、法人だからこそ信頼を得られていると感じる。ただ、法人化の際は提出書類などが多く、準備が大変だった。



仲間づくりにおいて、どのようなことに配慮しているか？

アスクネットでは、キャリアコーディネーターの組織とのつながりを活かしている。また、自団体と関わる方の気持ちを大切にすることを心がけている。



とこっ子では、親の会を開催して保護者同士をつなぐことをしている。畑で一緒に野菜を作り、それを関連する事業所で調理するなど、食を通じてもつながっている。



ファミリーステーションRinでは、常に地域の隣人として利用者に寄り添うことを心がけている。専門家が必要な時は弁護士や行政とも連携して支援している。



ゆめは一とでは、介護される人も社会貢献できる、主役となれる存在だと考えている。自力でこげる車椅子COGYで社会につながってほしいと思っている。



3 最も共感したNPOに投票

会場の参加者は、最も共感し、参加したいと思ったNPOを選び、投票用紙に理由と共に記入し、投票しました。



午後の部

4 SDGsの取り組み事例発表

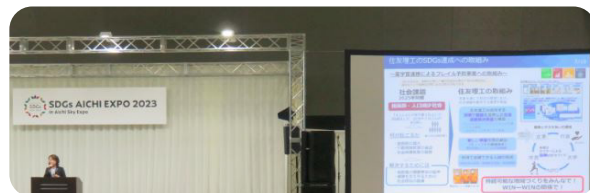
住友理工株式会社様、名古屋国際中学校・高等学校の生徒さんより、それぞれどのようにSDGsに取り組んでいるか、わかりやすく説明していただきました。

また、協働の取り組み事例として、NPO法人多文化共生サポートAdagio(2022年度のNPOアワードに参加)と愛知淑徳大学コミュニティ・コラボレーションセンター(CCC)から、外国人の子ども向け学習支援教室に関して協働を進めていることを発表していただきました。

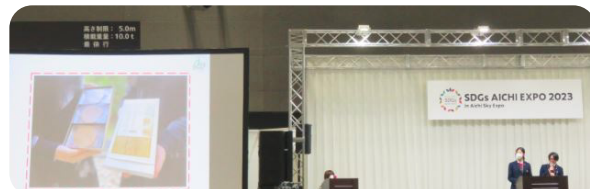
昨年度のNPOアワードに参加したAdagioは、外国籍の子どもたちと年齢の近いボランティアが少ないことに困っていました。一方、CCCの学生の皆さんは地域で活動する場を求めています。

お互いのニーズがマッチしたことで、協働して取り組むことになり、Adagioの子どもたちから話したいと思うことが増え、学生たちは子どもたちからエネルギーをもらっています。興味のある方はぜひ一緒に関わってください。

住友理工株式会社様からの事例発表



名古屋国際中学校・高等学校の生徒さんからの事例発表



NPO法人多文化共生サポートAdagioと愛知淑徳大学コミュニティ・コラボレーションセンターからの事例発表



5 結果発表及び協賛団体からの寄附金の贈呈

会場の参加者からの投票結果と審査員による審査結果に基づき、各団体の受賞内容と寄附金額が発表されました。

そして、住友理工株式会社様からの寄附金が、経営企画部協坂部長様から参加した8団体に贈呈され、メッセージが送られました。



賞	団体名	寄附金額
住友理工賞 グランプリ	社会福祉法人せんねん村 多文化ルームKIBOU	150,000円
住友理工賞 準グランプリ	NPO法人みんなのひみつきち	90,000円
審査員特別賞	NPO法人とこっ子	60,000円
入賞	NPO法人アスクネット	40,000円
入賞	NPO法人田舎暮らし支援センター	40,000円
入賞	NPO法人刈谷おもちゃ病院	40,000円
入賞	NPO法人ファミリーステーションRin	40,000円
入賞	NPO法人ゆめはーと	40,000円

6 「住友理工賞グランプリ」受賞NPOによるプレゼンテーション

「住友理工賞グランプリ」を受賞した社会福祉法人せんねん村多文化ルームKIBOUから改めてSDGs AICHI EXPO 2023の参加者に向けて、プレゼンテーションが実施されました。



3. 発表したNPOの声



当日は会場の参加者が真剣に聞いてくれ、感謝している。活動を支援してくれる方々がいることはとても励みになった。また、他の団体の多様な活動を知り、直接交流することができた。

資料の作成や、プレゼンの練習をする中で、自分達の活動が周りからはどのように見えるのか、自分達の想いと伝わる印象の違いはどのようなところにあるのか、SDGsと関連付けた時にどのような伝え方があるのかなどを考え、整理することができた。



普段の活動ではなかなか会うことのない異業種の企業や団体との出会いがあり、とても良い刺激をもらった。

SDGs AICHI EXPO 2023にあわせて開催されていて、とても良かったと感じた。NPOアワードは県民の教育の場としても活かせると思った。

参加団体それぞれが様々な事業で活動していると知ることができたため、発表者ながら会場で他団体のプレゼンを聞いたことがとても良かった。

4. 参加した県民の声



自分の生活の中では気付かないところで、色々な地域課題が存在し、その解決に尽力している人がいることが頼もしいと思った。また、それに対して今回のように寄附の仕組みがあることが素晴らしい流れだと感じた。若者の発表も将来への希望を感じた。

どのNPOの発表もほぼ時間通りにまとめられ、内容も非常にわかりやすく、講評でもあったが、素晴らしい発表だった。毎回参加するたびに、自身のモチベーションも上がるように思う。

プレゼンを聞いて、皆さんの熱量を感じることができた。とても良い勉強になった。

どこも人のために動いている人ばかりで素晴らしく、感心した。こういう気持ちのある人がたくさんいて、世の中捨てたものではないと感じた。

高校生によるNPOの組織運営という新たな形を新鮮に感じた。

皆さんのプレゼン内容が頭に入りやすくて良かった。もっと聞いてもらいたいと思った。

高校生が高校生とは思えないしっかりとした受け答えをしており、印象に残った。



NPOアワードの参加者が、NPOの活動を実際に体験することにより、社会参画・貢献を考えるための実地体験を行いました。

1. 開催実績 1

概要

日時：2023年12月24日(日)9:45～12:00

場所：NPO法人みんなのひみつきちが無料塾を開催している下記事業所
就労継続支援事業所B型 すてっぷ(春日井市)

参加者：当団体に共感し応募した県民4名

内容：当日は、無料塾に加えてクリスマスの工作教室も行うということで、20名以上の小学生が訪れ盛況でした。

まず、高校の先生から団体活動の説明をしていただき、無料塾を見学しました。先生は基本的に見守りで、活動の主体は高校生となっています。

小学生1～3人に高校生が1人付き、前半は宿題など勉強をみる時間、後半はクリスマスカード作りでした。参加している小学生は高校生の言うことをよく聞き、とても楽しそうに思い思いのカードを作っていました。

地域の子どもたちの居場所として、なくてはならない場所となっている様子に、参加者も感心していました。

当日の様子



参加者の声



高校生の一生懸命やっている姿と子どもたちの楽しい様子が印象的だった。

高校生が主体となって活動していたことが印象に残った。こういった場にお金が必要だと感じた。



高校生が小さい子どもたちと目線を合わせながら活動しているのが、とても上手だと感じた。高校生という特性を活かしてOB、OGの力を借りていることや、部活動による持続的な体制構築など、一般の団体にはない仕組み作りはとても参考になった。

先生(高校生)と生徒(小学生)の距離感が近く、これまでの活動の成果が感じられた。



2. 開催実績 2

概要

日 時: 2024年1月13日(土) 13:00 ~ 15:30

場 所: 社会福祉法人せんねん村多文化ルームKIBOU(西尾市)

参加者: 当団体に共感し応募した県民5名

内 容: まず、NPOアワードの寄附金で買ったランドセルを、来年度小学生になる児童の保護者へ贈呈する式があり、参加者も立ち会いました。保護者の方々はとても喜ばれていました。

その後、就学前の児童が親と共に日本語を学ぶ親子プレスクールを参観しました。子どもたちは多国籍なスタッフと楽しく遊びながら、日本語を学んでいました。

そして、理事長から改めて団体の活動内容を聞いた後、小学生の読書クラスに参加しました。この日は工作教室もあり、参加者も小学生と会話をしながら、細かい切り貼り作業を手伝いました。

外国籍の子どもたち、その親たちがこの場所に来ることをとても楽しんでいる様子を見て、参加者の顔もほころんでいました。

当日の様子



参加者の声

未就学の子どもたちがとても楽しそうに「ひらがな」の勉強をしていたのが印象的だった。親も一緒に参加しており、色々なスタンスが見ていておもしろかった。



楽しみながら親子で取り組んでいる様子が見られて良かった。子どもたちの元気な声が印象的だった。真剣に工作に取り組んでいるのは、日本の子どもと変わらないと思った。



不就学ゼロを目指していることが印象に残った。自分が前に別の団体で日本語を教えた子が、当団体の先生になっていてびっくりした。



親子プレスクールで子どもたちが元気に遊んでいる姿は、先生たちの子ども目線での教え方が結びついている印象だった。また、ご家族の事情をふまえた料金設定なども参考になった。工作のサポートでは、子どもたちの進め方がとても賢い印象だった。



KIBOUさんの運営に多くの職員が関わっていることが印象的だった。職員の、子どもたちへの関わり方も素敵だった。



1. 実施概要

2022年度のNPOアワードに参加したNPOが、企業・大学等と連携した取組を進めることができるように支援しました。

	1	2
NPO	NPO法人おさんぽや	NPO法人多文化共生サポートAdagio
企業・大学	株式会社ミツモリ	愛知淑徳大学コミュニティ・ コラボレーションセンター
打ち合わせ 回数	3回 (7月1日、7月5日※、7月18日)	6回 (5月19日※、6月8日、7月13日、 8月10日、9月21日、10月4日※)

※はオンライン

2. 協働事例 1 NPOと企業

テーマ コミュニケーションツールの一つとして「絵本づくり」

NPO: NPO法人おさんぽや（一宮市）

企業: 株式会社ミツモリ（名古屋市、小牧市）



協働前の状況

NPO法人おさんぽや

親子さんぽ会や野外預かり保育の活動を通じ、子どもに身近な自然と親しんでもらうなど、子育ての専門性を持ったスタッフが環境教育を通じた子育て支援をしています。

株式会社ミツモリ

紙卸業でもある特徴を活かし、紙を使ったキッズ向けワークショップ等を行うなど、地域と密接に関わることで、より良い影響を与え得ることができると信じ活動を続けています。

協働の検討

NPO法人おさんぽやは、2022年度のNPOアワードで「子育ては一人ではできない、安心・安全な居場所づくり」をしたいと発表し、そのための施策を考えていました。

その発表を聞いていた株式会社ミツモリが、自社の持っている絵本作成のノウハウを活かせるのではないかと、間にNPO法人中部プロボノセンターが入り、協働に向けて検討する打ち合わせを3回実施しました。

活動報告

協働するにあたり、どのような絵本にするかNPO法人おさんぽや内で絵本の中身、作成後の活用方法やありたい姿について打ち合わせを重ねた結果、コンセプト作成にまだ時間がかかることがわかりました。そのため、絵本の作成は具体的な方針が決まってからとして延期となり、2023年度内の協働は見送りとなりました。

企業にもその旨を説明し了承していただきました。

3. 協働事例 2 NPOと大学

テーマ 「外国人と日本人が地域社会で共に暮らしていくために
質の高い教育を届けたい」

NPO: NPO法人多文化共生サポートAdagio (西尾市)
大 学: 愛知淑徳大学コミュニティ・コラボレーションセンター
(名古屋市長久手市)



協働前の状況

NPO法人多文化共生サポートAdagio (以下「Adagio」という)

Adagioは外国人と日本人の共生社会を目指し、外国人の子ども向け学習支援教室「アーモンド※」などを安城市で開催しています。この教室では、特に子どもたちと近い年齢のボランティアが少なく、ジェネレーションギャップからか、子どもたちの想いを共有できていないことがある状況でした。

※アーモンド…毎週木曜日 18:00～20:00 安城市アンフォーレで実施する学習支援教室

愛知淑徳大学コミュニティ・コラボレーションセンター (以下「CCC」という)

愛知淑徳大学の理念である「違いを共に生きる」から「地域に根ざし世界へひらく」を実現する場としてCCCを設置し、外国人の子ども向け学習支援など、学生の様々なボランティア活動を推進しています。CCCでは、大学生が得意や好きを活かして地域参画できる場を求めています。

協働に至った経緯

Adagioが2022年度のNPOアワードに参加したことで、NPO法人中部プロボノセンターが持続可能な社会の創り手育成事業の一環として、Adagioの困っていることや求めていること、CCCの求めていることを聞き取ったところ、マッチングできるのではないかと感じたため、2023年5月に双方のマッチング機会を設けて目的を共有することで、多文化共生の社会を目指し連携・協働していくこととなりました。

活動報告

協働するにあたり、両団体との打ち合わせ(オンラインを含む)を重ね、2023年8月から学生がAdagioの学習支援教室「アーモンド」に参加し、日本語での学習支援活動を継続しています。(1回につき1～2人、月に1～2回程度実施)

協働の成果

外国人の子ども向け学習支援教室に大学生ボランティアがいることで、子どもたちと年齢が近くジェネレーションギャップが少ないため、趣味や流行りの話題も共有することができました。また、年齢が近い方が子どもたちも親しみやすいため、子どもたちから気軽に話すことが増えています。

子どもたちとのなげない日常会話のきっかけがあることで、勉強に対する会話も自然と増え、子どもたちの学習意欲にもつながっています。

そして、子どもたちから見ると、大学生は憧れであり、自分たちの目標になる存在でもあります。子どもたちにとって、身近にそういった存在がいると将来への意欲につながることに加え、大学生たちにとっても、子どもたちからの憧れの存在となることで、自信へとつながっています。

この協働の取組内容は、2023年度のNPOアワードにて事例発表され、参加者に多文化共生や協働に関して伝える機会となりました。





ASK NET

NPO法人アスクネット



所在地：名古屋市熱田区

☞ <https://asknet.org>

団体のミッション	地域の学校・市民・企業・行政・各種団体などと協力して、互いが学びあい育ちあう共同体づくりを進める。そこでの出会いをきっかけとして、人々とりわけ子どもたちが夢や目標をもって挑戦し、その中で成長していく学習を創造する。これらの多様な「出会い」と「挑戦」の機会を通じて、自らの人生を主体的に切り開き、社会をよりよくしていく主体者へと成長する過程を支援することで、誰もが心豊かに暮らせる社会を実現し、社会全体の利益の増進に寄与することを目的とする。																
今後のNPO活動における抱負	出会いと挑戦の教育、学び合い育ち合う共同体づくりを進めていきます。																
SDGs関連活動についての一言宣言	パートナーシップを活かした仕組みづくりにより、より多くの子どもたちに質の高いキャリア教育を届けていきます。																
SDGs関連活動	主な活動 ④, ⑤, ⑧, ⑩, ⑬より多くの子どもたちに届けるため学校教育と連動したキャリア教育プログラムを実施 その他の活動 ①, ③, ④, ⑬生活困窮世帯の児童や生徒に対する学習等(学習や体験活動など)支援事業 ①, ②, ③, ④, ⑤, ⑥, ⑦, ⑩, ⑪, ⑫, ⑬, ⑭, ⑮, ⑯, ⑰企業と協力して、子どもたちに環境や命の大切さについて学ぶ機会を創出 ①, ②, ③, ④, ⑤, ⑥, ⑦, ⑧, ⑨, ⑩, ⑪, ⑫, ⑬, ⑭, ⑮, ⑯, ⑰学校や行政からの依頼で、子どもたちがSDGsを学んだり、SDGsにつながるアクションをするきっかけをつくったり、学び考えたことを発信する機会を創る事業を実施 ⑰全ての事業は学校・企業・行政等、様々なセクターとビジョンを共有し協働																
寄附金の活用状況	小学校にて社会人講座を開催します。 県内の公立小学校にて、社会で活躍する大人を学校に招き、仕事の話をしていただく「社会人講座」の実施費用に活用させていただきます。 <table><tr><td rowspan="6">概要</td><td>事業名等</td><td>市民講師ナビ事業</td></tr><tr><td>日時(期間)</td><td>2024年2月20日(火) 8:45 ~ 12:15</td></tr><tr><td>場所</td><td>県内の公立小学校</td></tr><tr><td>内容</td><td>働くことや仕事の楽しさを知ること、将来を考えるきっかけをつくることをねらいとした社会人講座を実施します。 講座では、様々な分野で活躍されている社会人8名をお招きして、仕事内容ややりがいなどをお話いただきます。</td></tr><tr><td>対象</td><td>小学6年生 2クラス</td></tr><tr><td>参加人数</td><td>68名</td></tr><tr><td>具体的な状況</td><td colspan="2">上記の社会人講座を実施するため、コーディネートを行っています。 具体的には、学校の先生と打ち合わせを行い、対象児童に関するヒアリングや、講座のねらいの相談、当日の流れの確認をしました。 その内容をもとに、ねらいにあった社会人講師(8名)のリサーチ、協力依頼、講座内容の打ち合わせなどの調整を行っています。</td></tr></table>	概要	事業名等	市民講師ナビ事業	日時(期間)	2024年2月20日(火) 8:45 ~ 12:15	場所	県内の公立小学校	内容	働くことや仕事の楽しさを知ること、将来を考えるきっかけをつくることをねらいとした社会人講座を実施します。 講座では、様々な分野で活躍されている社会人8名をお招きして、仕事内容ややりがいなどをお話いただきます。	対象	小学6年生 2クラス	参加人数	68名	具体的な状況	上記の社会人講座を実施するため、コーディネートを行っています。 具体的には、学校の先生と打ち合わせを行い、対象児童に関するヒアリングや、講座のねらいの相談、当日の流れの確認をしました。 その内容をもとに、ねらいにあった社会人講師(8名)のリサーチ、協力依頼、講座内容の打ち合わせなどの調整を行っています。	
概要	事業名等		市民講師ナビ事業														
	日時(期間)		2024年2月20日(火) 8:45 ~ 12:15														
	場所		県内の公立小学校														
	内容		働くことや仕事の楽しさを知ること、将来を考えるきっかけをつくることをねらいとした社会人講座を実施します。 講座では、様々な分野で活躍されている社会人8名をお招きして、仕事内容ややりがいなどをお話いただきます。														
	対象		小学6年生 2クラス														
	参加人数	68名															
具体的な状況	上記の社会人講座を実施するため、コーディネートを行っています。 具体的には、学校の先生と打ち合わせを行い、対象児童に関するヒアリングや、講座のねらいの相談、当日の流れの確認をしました。 その内容をもとに、ねらいにあった社会人講師(8名)のリサーチ、協力依頼、講座内容の打ち合わせなどの調整を行っています。																

寄附金の活用状況

寄附金額

40,000円



所在地：知多郡南知多町

団体のミッション	①主体的に「農」に関わる機会をつくる。 ②南知多に関心ある多様な方々をつなぐ場をつくる。 ③里山・里海を大切にします。 ④南知多で夢をかなえる手伝いをする。		
今後のNPO活動における抱負	田んぼ活動をはじめ、様々な自然体験を通して環境保全の大切さや、昔ながらの米作りの魅力を伝えていきたいです。今後は特に、活動内容の発信に力を入れて、ファンを増やしていきたいです。		
SDGs関連活動についての一言宣言	都会の人との交流を大切にしながら、耕作放棄地からよみがえらせた田んぼでの活動を続け、ヘイケボタルが舞う環境を次世代に残します！		
SDGs関連活動	主な活動	⑮・耕作放棄された棚田を復活させ、オーナー制田んぼとして無農薬の米づくりを実施。今ではヘイケボタルも舞うようになり、6月にはホテル観賞会も開催。共用田んぼ(オーナー制とは別)では一般の親子参加者らを募り田植え・稲刈り・餅つき等の体験会を実施したり、南知多ほたる米としての販売も企画 ・継承困難となったビワ畑を管理し、オーナー制にて運営したり、一部の区画は地元の保育園児の収穫体験用として運営 ・農地を借り上げ、オリーブを栽培(当法人の会員(都会からの移住者ら)が企画) ・南知多の花である水仙を畑にて栽培し、冬期に販売	
	その他の活動	⑪・農業体験や自然体験において、田舎暮らしに興味をもった都会の人と交流しています。 ⑤・農機具を使つての作業を男性任せにはせず全員で行い、メンテナンス等についても、なるべく全員が行えるよう随時講習等を実施しています。 ・理事会の構成員は、男女同じ割合を目指し(現在、女性3名・男性2名)年代も偏らないようにしています。 ⑧・理事長はじめ会員は普段は他の仕事をしている者が多いが、週末にNPOの活動をすることでやりがいを感じています。今後、南知多ほたる米や水仙等を販売することで経済的な活動にも力を入れたいと考えています。 ⑭・海は、陸から流れてくる栄養分や水でさらに豊かになり、逆に、農薬や化学肥料が流れ出る事は、陸だけでなく海の豊かさ損なうものです。無農薬で米づくりをする過程においても、子どもたちにそういった事を伝えていきます。	
寄附金の活用状況	田んぼでの自然体験実施費用や農機具の維持管理に活用します。		
	田んぼでの無農薬米作りとヘイケボタルの保護のために必要な、農機具の維持管理に活用します。		
寄附金額 40,000円	概要	事業名等	田んぼでの自然体験行事
		日時(期間)	年間を通して活動
		場所	知多郡南知多町
		内容	田植え体験(5月)→ホテル観賞(6月)→稲刈り体験(10月)→餅つき会(12月)→しめ縄づくり(12月)
		対象	町内外、世代を問わず体験したい方はどなたでも
		参加人数	各回おおむね25名
	具体的な状況	体験行事の費用や、収穫したお米を脱穀する機械が古いため、メンテナンスや修理費用に充て、安全に実施していきます。 	



NPO法人刈谷おもちゃ病院

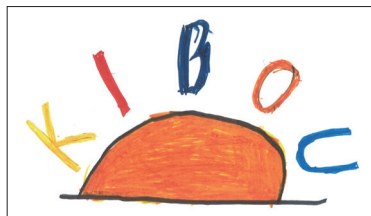


所在地：刈谷市

http://kariya-omocha.jp

団体のミッション	①リタイア後の人生を「やりがいやいきがい」をもって過ごせる場を提供する。 ②「壊れたら捨て新しく購入する」という使い捨て文化に警鐘を鳴らし、「物を大切にする心や文化」を世の中に広め・定着させる活動を展開する。 そのための具体的活動として「現役時代の知識・経験・技術を生かして、且つ市民の皆様喜んでもらえるもの」として「おもちゃ修理活動」を展開する。 ③次世代を担う子供達に「物を大切にする心」「物づくりの楽しさ」を育むために「親子工作教室」や「幼稚園・保育園の巡回修理」を展開する。 ④このような活動を通して、「地域社会の一員として社会参画し社会福祉活動の担い手となる」とともに、「自分自身の豊かな人生を送ればと願う」ボランティア団体です。
今後のNPO活動における抱負	修理不能品をできるだけ減らし、お客様の期待向上に役立てていきたい。
SDGs関連活動についての一言宣言	壊れたら捨てる、いらなくなったから捨てるといった行動をできるだけ減らすために、刈谷おもちゃ病院の活動を広く知ってもらおう。
SDGs関連活動	主な活動 ⑪,⑫ ・壊れたおもちゃを即捨てずに、修理して再び遊べるようにして、ごみにならないようにする活動を展開しています。 また、リサイクル・リユースをしてごみを減らす活動もしています。 その他の活動 ④ ・おもちゃを大切に使うことの意義を伝えたり、モノづくり教室・簡単工作教室でモノづくりの楽しさを教えたりして、子どもたちの育成に貢献しています。 ⑧ ・会社生活を終わった高齢の方たちが、活き活きと働けるような場づくりとして貢献しています。

寄附金の活用状況	小型スポット溶接機を購入し、おもちゃの修理に活用します。												
	概要	<table><tr><td>事業名等</td><td>刈谷おもちゃ病院</td></tr><tr><td>日時(期間)</td><td>2024年3月31日までに</td></tr><tr><td>場所</td><td>刈谷おもちゃ病院</td></tr><tr><td>内容</td><td>小型スポット溶接機の購入</td></tr><tr><td>対象</td><td>おもちゃ修理用部品</td></tr><tr><td>参加人数</td><td>20人</td></tr></table>	事業名等	刈谷おもちゃ病院	日時(期間)	2024年3月31日までに	場所	刈谷おもちゃ病院	内容	小型スポット溶接機の購入	対象	おもちゃ修理用部品	参加人数
事業名等	刈谷おもちゃ病院												
日時(期間)	2024年3月31日までに												
場所	刈谷おもちゃ病院												
内容	小型スポット溶接機の購入												
対象	おもちゃ修理用部品												
参加人数	20人												
	具体的な状況	ねじ止めできない薄物の接合に写真のような溶接機を使用します。 											



社会福祉法人せんねん村 多文化ルームKIBOU



所在地：西尾市

<https://tabunkakibou.wordpress.com/>

団体のミッション	国籍や出身にかかわらず、地域にくらす外国ルーツの子どもの不就学ゼロを目指す。
今後のNPO活動における抱負	活動を広く知ってもらい、多様な文化的背景をもつ外国ルーツの子どもたちへの理解を深めるためにも、ともに活動する方や理解者を増やしていきたい。
SDGs関連活動についての一言宣言	多様な文化的背景をもつ子どもが一人も取り残されることなく、学ぶ機会を得られるように活動を続けていきます！
SDGs関連活動	主な活動 ④・就学前日本語クラス「プレスクール」の実施や、就学後の生徒の学習の場、居場所づくり ・多言語による就学説明会、不就学家庭訪問調査および不就学クラスの実施 ・子どもの保護者を対象とした日本語クラスの実施 活動内容 ・西尾市保育課と協力し、市内すべての保育所・幼稚園・子ども園を対象として小学校就学を控えた年長児のうち、日本語での生活に慣れない子どもとその保護者への日本語クラスを開講しています。 ・毎夏、小学校就学のための基本的な情報と、学童保育の案内を多言語で実施し、質問や不安を話すブースを設けています。当日参加のできない方へは、就学案内の短い動画を多言語で準備し視聴してもらえるようにしています。 ・西尾市教育委員会との協力で、学籍のない学齢児童、および5歳年長児の家庭訪問を実施し、子どもの居場所を確認しています。 ・不就学家庭訪問調査で判明した不就学児童についての情報を教育委員会と共有し、彼らが生活を整え就学できるようになるまで日本語学習や季節の行事に親しめる機会をつくっています。 ・地域で暮らし子育てをする保護者が、子どもを守り自ら正しい情報へアクセスできるようになるために、大人を対象とした日本語クラスを開講しています。
学校との連携	引き続き、利用対象者の通う学校（未就学児の通う園を含む）と連携していきます。

寄附金の活用状況	外国にルーツをもち、経済的に困窮状態にある子どもの就学や進学のためのカバンを購入します。	
	外国ルーツの子どもの保護者は不安定な就労状況にあるケースが多く、余裕のない家庭もあります。そういったことから、次年度の就学・進学へ向けての学用品（主にランドセルなどの高額なもの）と、子供向けのイベントで渡す景品や駄菓子などを購入する予定です。	
寄附金額	150,000円	
概要	事業名等	ランドセルなどの学用品購入
	日時(期間)	2023年12月～ 2024年3月
	場所	学用品店などで購入し、多文化ルームKIBOUにて手渡します。
	内容	ランドセル・学生カバン100,000円 文房具・駄菓子50,000円
	対象	多文化ルームKIBOU通室児童生徒のうち、困窮家庭で育つ子供
	参加人数	ランドセル・学生カバン・・・ 7人程度を予定 文房具・駄菓子・・・ 200人程度
具体的な状況	ランドセル2個を購入し、実地体験開催日(1月13日)、保護者への贈呈式を行いました。その他、地元の洋品店や学用品を扱う業者へ問い合わせ、学生カバンや文房具・駄菓子など購入予定です。	
		



NPO法人とこっ子



所在地：常滑市

☎ <http://tokokko.jimdofree.com>

団体のミッション	生きにくさを抱えた児者とその家族に、常滑の地で0～101までの切れ目のない支援を行い、個々の尊厳が保障された地(楽園)を造る。		
今後のNPO活動における抱負	常滑の地で、生きにくさを抱えた児者が安心して住み続けられる楽園を造っていきます！		
SDGs関連活動についての一言宣言	普通より『らしさ』を大切に！障がいのある子もその保護者もみんなが取りこぼされることなく働く場と安心できる暮らしを！		
SDGs関連活動	主な活動 ① ・障がい等の為に学童などに行くことも、一人自宅で待つこともできない子どもを抱えた家庭が、貧困に至らないために、児童を学校へ迎えに行き事業所で療育を行い自宅に送っていくことで、保護者(特に母)の就労の時間を生み出している。さらに、法人内の子どもが利用している事業所とは別の事業所で保護者を非常勤職員等で雇用することで、融通の利く働き方を可能にしている(現在10名を超す保護者が法人内の児童や成人の事業所で働いている)。働きながら、子育てに必要な知識やスキルを身に付けていただくこともでき、保育士等の資格の取得にもつながっている。また、発達に偏りを持った児童にも、潜在能力を生かした進路を選べるようサポートし、進学の為の対策を行う事業所もある。その結果将来の仕事の幅が広がっている。 その他の活動 ③ ・重い知的障がい・発達障がい・メンタルの問題を抱えた児者とその家族が、取りこぼされることなく、楽しく生き生きとした生活が送れる場や、健康維持のための活動を提供している。保護者さんで構成されている『とこっこ親の会』も、孤立しがちな親御さんたちが情報の共有を図ったり、イベントや研修を企画し自己効力感を高める場となっている。 ④ ・様々な理由から、標準的な義務教育を受けることが出来なかったり、受けることを拒んだりしているような児童に対して、学校教育とは別の体験や学びの場を提供している。また、子育てに苦慮している保護者の方には、子育て講座を通年通して行っている。 例:社会スキル・PC・ヨガ・創作活動・学習の基礎の構築 ⑧ ・働く場の提供として、就労継続事業を行っている。工賃を上げていくために地域や保護者の協力のもと様々な可能性を模索している。また、各自が自分の特性に合わせた仕事内容が選べるような工夫をしていく。 ⑪ ・生まれた地域で、子ども時代を送り、卒業後に働く場を持ち、大人になり実家から出て住む場所を見出せる組織づくりを念頭に中長期の事業計画を練っている。 ⑫ ・野菜を栽培して無駄なく使うよう、フードバンクや自家栽培の野菜等を給食で利用している。		
	学校との連携	現在計画中の新たな子どもの居場所づくりの事業において、大学と協働したいと考えています。	
寄附金の活用状況	地元の食材を使ったお弁当を作っている生活介護事業所の就労部門の厨房機器の購入にあてます。		
	概要	事業名等	地元食材利用の配食事業
日時(期間)		R5年度～	
場所		常滑市小林町3丁目126番地 望海	
内容		地元の食材を中心にしたお弁当作りのために、老朽化した厨房機器を新しくすることで、障がい者が安全に作業をすることが出来、就労の可能性を広げ、栄養のあるお弁当を安価で提供する。	
対象		障がい者・障がい児	
具体的な状況	参加人数	一日 40食ほど	
	  		



NPO法人 ファミリーステーション Rin



所在地：日進市

<https://npo-rin.org/>

団体のミッション	一人一人の個性が尊重され、それぞれの力の発揮できる社会を目指し、子どもたちも親たちも、自立して生き生きと生活できるまちづくり		
今後のNPO活動における抱負	親子の困難や不安の解消を目指して、公的支援と民間や地域の資源を組み合わせた切れ目のない支援を行なっていきます。その実現のために認定NPO法人を目指します。		
SDGs関連活動についての一言宣言	「困難を抱える親子の身近な存在として、切れ目のない支援を継続し、持続可能な取り組みとして発展させます」		
SDGs関連活動	● 法人全体のSDGs理念・・・「誰一人取り残さない社会に向けて (Leave no one behind)」		
	主な活動 ③, ⑤, ⑪ ・居場所事業 ・居住支援事業 ・訪問型サポート事業 ・指定管理事業 ・支援者養成、研修事業 その他の活動 ③, ⑤, ⑪ …………… ・にっしん子育て総合支援センター指定管理事業 (施設管理運営事業/地域子育て支援拠点事業/子育て援助活動支援事業 (ファミリー・サポート・センター事業)/利用者支援事業/養育支援訪問事業/自主事業) ・ジェンダーに対する配慮を全事業においてしています。 ・企業・行政等、様々なセクターとのビジョンを共有し協働していきます。		
企業・学校との連携	困難を抱える家庭やひとり親の子どもと親の居場所 (学習支援も含む) を発展し、新規居場所も開設します！ビジョンを共有し一緒に進んでいただける方や企業を探しています！		
寄附金の活用状況	概要	事業名等	居住支援事業&子ども食堂
		日時(期間)	年間を通じて受入れ
		場所	愛知県内
		内容	住まいを探すお手伝いや、一時的に住まうことのできる居場所やこども食堂の運営
		対象	困難を抱える子育て家庭
		参加人数	10 ～ 20家庭/年
	具体的な状況	困難を抱える家庭の自立に向けた支援と、居場所の備品の充実に活用します。 ① 休日のお子さんの託児料 ② 子ども食堂の備品や消耗品を予定しています。	
			
		※利用者の秘密保持のために活動中の写真は掲載できませんのでご了承ください。	



NPO法人みんなのひみつきち



所在地：春日井市

<https://haruhiac.com/>

団体のミッション	地域子どもたちに対して無償で教育機会を提供することで、家庭の経済格差による教育格差の是正、障害の有無にとらわれない教育の場の整備を目指すとともに、実学を通して地域の多く子どもたちに「学ぶことの楽しさ」と「まなびがい」を知ってもらうこと。
今後のNPO活動における抱負	無料塾みんなのひみつきちが小中学生の居場所となり、少しでも多くの生徒の将来のための学習の場としていきます。一時の企画とならないように、生徒の需要がある限り、継続的に学習支援が続けられるようにしていきます。
SDGs関連活動についての一言宣言	学びによって子どもたちの未来と社会の未来を作ります。
SDGs関連活動	主な活動 ①, ②, ④, ⑪, ⑫ 地域子どもたちに対して無償で教育機会、居場所を提供 活動内容 「実際に体験することを通して新しい学びに繋げてほしい。」 そんな思いで小中学生を対象にたくさんの生徒さんを受け入れ、毎週日曜日にみんなで楽しく勉強しています。 生徒さんとのコミュニケーションを大切に、一人ひとりの声をしっかり聴き、一緒に楽しく学べる空間を提供しています。
企業との連携	経費確保のためのグッズづくりにおいて、企業との連携・協働を継続していきます。

無料塾みんなのひみつきちで使用する机とイス、机の間を仕切る移動式のパーティションを購入予定です。

概要	事業名等	学習支援
	日時(期間)	毎週日曜日10時～11時30分
	場所	就労継続支援事業所B型 すてっぷ 愛知県春日井市鳥居松町6丁目5-1 丸十ビル 1階
	内容	小学校1年生から中学校3年生までを対象に無料で学習支援活動を行う
	対象	小学校1年生から中学校3年生
	参加人数	1回あたり生徒10～20人 団体メンバー約10人

寄附金の活用状況

寄附金額

90,000円

具体的な状況



←場所をお借りしている「就労継続支援事業所B型 すてっぷ」様には、写真右奥のように備品などが多く置かれています。

子どもたちへの安全配慮のために、パーティションが必要です。

またグループ別の学習に利用することで、集中力UPにもつながります。

 ゆめはーと NPO法人ゆめはーと 1貧困をなくそう 4質の高い教育をみんなに 3すべての人に健康と福祉を 11住み続けられるまちづくりを 17パートナーシップで目標を達成しよう 所在地：名古屋市守山区  https://yumeheart.or.jp/																	
団体のミッション	介護する人と介護される人、支援する人と支援される人を分けない。介護や福祉的支援を受ける人が、そのままの状態でも誰かのために活躍できる社会環境を創る。																
今後のNPO活動における抱負	厚志家の善意に頼り、設立時から寄附により運営してきましたが、追加の寄附を上手にいただくことができず、運営に苦戦しております。 新たに定款変更して、営利事業にも挑戦することとしました。新たな事業でも活動範囲は、介護・福祉・保育・教育といった設立時からの領域に、こだわりながら運営してまいります。 介護や福祉的支援を必要とする人々やその家族介護者の日々の暮らしに様々な産業を繋げていきます。																
SDGs関連活動についての一言宣言	「誰一人取り残さない」という言葉には、可哀そうな人を助けてあげるという意味だけではなく、たとえ介護や福祉的支援を必要とする人であっても、そのままの状態でも社会や誰かの役に立てるという意味も含まれていると考えます。 介護や福祉的支援を必要とする人が、頼りになる・ありがたいと言われる存在になるために、仕組み・ルール・サービスを工夫し、常識を変えて、社会を変えていきます。笑顔で暮らせる人が増える愛知県をみんなで一緒に創りましょう。																
SDGs関連活動	主な活動 ①,③・みまもり安心サポート事業・・・一人暮らしの高齢者の見守りと生活サポートが地域住民の収入に繋がる事業です。 ・あきらめない人の車椅子COGYの普及活動・・・障がい者の全身運動のみで進んでいける車椅子COGYを普及することで、健康的で笑顔のある暮らしと、社会参画を促します。(心と身体と暮らしの健康を創り育てます。) その他の活動 ⑪,⑬・・・スマホ教室事業・・・地域の高齢者や障がい者を対象に地域づくりは人づくりと考えて繋がりをつくります。 ・婚活＆終活事業・・・福祉の視点からご縁を繋ぎます。 ・他団体のサポート・・・専門性の高い事業の応援を通じて街づくりに貢献します。(暮らし続けたい街づくりに取り組みます。) ④・・・介助奨学生プログラム・・・高校生に介護の初任者研修の研修受講費と交通費を全額無償で履修してもらったうえで、介護現場とマッチング支援して、アルバイトをして将来の就職や進学の夢をあきらめないように応援する事業です。 ・オンラインサロン事業・・・介護福祉分野からの情報発信を重視して学びの機会を提供します。(介護福祉分野の価値を高めて魅力を伝えます。)																
寄附金の活用状況	お預かりした寄附金は全額子ども用COGY購入費用に充当します。 <table><tr><td rowspan="6">概要</td><td>事業名等</td><td>子ども用COGY無料長期貸与プロジェクト</td></tr><tr><td>日時(期間)</td><td>令和5年10月7日から目標達成まで</td></tr><tr><td>場所</td><td>愛知県内</td></tr><tr><td>内容</td><td>愛知県内の難病や障がいを持つ子どもたちに向けて、無料長期貸与を目的に子ども用COGYを購入します。 メーカー希望小売価格52万5千円(送料はゆめはーと負担)の子ども用COGYを購入するために、525名の協賛者から1,000円ずつご寄附いただきます。 ※今回のみんなで選ぶ「NPOアワード」で託していただいたご寄附も全額その中にいれます。</td></tr><tr><td>対象</td><td>愛知県内の難病や障がいを持つ子どもたち</td></tr><tr><td>参加人数</td><td>購入台数1台のため、一度に貸与できるのは1名 (協賛者の参加人数は最大525名)</td></tr><tr><td>具体的な状況</td><td colspan="2">プロジェクトが立ち上がった10月7日に会場で17名の賛同者からのべ19,000円の寄附をお寄せいただきました。今回の寄附もそこに足して子ども用COGYの無料長期貸与を実現させます。 NPOアワード終了後から寄附集めが本格スタートしています。みなさんご協力をお願いします。</td></tr></table> 寄附金の活用状況 寄附金額 40,000円	概要	事業名等	子ども用COGY無料長期貸与プロジェクト	日時(期間)	令和5年10月7日から目標達成まで	場所	愛知県内	内容	愛知県内の難病や障がいを持つ子どもたちに向けて、無料長期貸与を目的に子ども用COGYを購入します。 メーカー希望小売価格52万5千円(送料はゆめはーと負担)の子ども用COGYを購入するために、525名の協賛者から1,000円ずつご寄附いただきます。 ※今回のみんなで選ぶ「NPOアワード」で託していただいたご寄附も全額その中にいれます。	対象	愛知県内の難病や障がいを持つ子どもたち	参加人数	購入台数1台のため、一度に貸与できるのは1名 (協賛者の参加人数は最大525名)	具体的な状況	プロジェクトが立ち上がった10月7日に会場で17名の賛同者からのべ19,000円の寄附をお寄せいただきました。今回の寄附もそこに足して子ども用COGYの無料長期貸与を実現させます。 NPOアワード終了後から寄附集めが本格スタートしています。みなさんご協力をお願いします。	
概要	事業名等		子ども用COGY無料長期貸与プロジェクト														
	日時(期間)		令和5年10月7日から目標達成まで														
	場所		愛知県内														
	内容		愛知県内の難病や障がいを持つ子どもたちに向けて、無料長期貸与を目的に子ども用COGYを購入します。 メーカー希望小売価格52万5千円(送料はゆめはーと負担)の子ども用COGYを購入するために、525名の協賛者から1,000円ずつご寄附いただきます。 ※今回のみんなで選ぶ「NPOアワード」で託していただいたご寄附も全額その中にいれます。														
	対象		愛知県内の難病や障がいを持つ子どもたち														
	参加人数	購入台数1台のため、一度に貸与できるのは1名 (協賛者の参加人数は最大525名)															
具体的な状況	プロジェクトが立ち上がった10月7日に会場で17名の賛同者からのべ19,000円の寄附をお寄せいただきました。今回の寄附もそこに足して子ども用COGYの無料長期貸与を実現させます。 NPOアワード終了後から寄附集めが本格スタートしています。みなさんご協力をお願いします。																



発行：2024年3月

主催：愛知県（県民文化局県民生活部社会活動推進課）

受託団体：特定非営利活動法人中部プロボノセンター